

2009年8月11日

各位

会社名 株式会社ドン・キホーテ  
 代表者名 代表取締役社長 成沢潤治  
 コード番号 7532 東京証券取引所市場第一部  
 本社所在地 東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル35F  
 情報開示責任者 専務取締役 高橋光夫  
 電話番号 03-5381-7588 (直通)

## 通期業績予想の修正及び期末配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

平成21年6月期通期（平成20年7月1日～平成21年6月30日）の業績予想及び期末配当予想につきまして、平成21年2月6日（配当予想は平成20年8月18日）に公表いたしました予想を、下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

### 1. 平成21年6月期通期（平成20年7月1日～平成21年6月30日）の業績予想の修正

#### （1）連結業績予想の修正

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	一株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	460,000	13,300	11,300	5,500	79.50円
<b>今回修正予想（B）</b>	<b>480,000</b>	<b>17,100</b>	<b>15,900</b>	<b>8,900</b>	<b>128.00円</b>
増減額（B-A）	20,000	3,800	4,600	3,400	—
増減率（%）	4.3%	28.6%	40.7%	61.8%	—
前期実績（平成20年6月期）	404,924	15,981	17,204	9,303	130.78円

#### （2）個別業績予想の修正

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	一株当たり 当期純利益
従前予想（A）	306,000	14,000	12,400	6,300	91.07円
<b>今回修正予想（B）</b>	<b>307,900</b>	<b>14,500</b>	<b>13,700</b>	<b>7,300</b>	<b>105.00円</b>
増減額（B-A）	1,900	500	1,300	1,000	—
増減率（%）	0.6%	3.6%	10.5%	15.9%	—
前期実績（平成20年6月期）	290,779	14,769	15,420	8,701	122.32円

※個別業績予想につきましては、「決算短信の総合的な見直しに係る決算短信の様式・作成要領」（平成18年8月29日東証上管1004号）に基づき、記載を省略しておりましたが、今回の修正にあわせ、参考までにお知らせいたします。

### (3) 業績予想の修正の理由

前回発表の通期業績（連結）予想につきましては、第2四半期累計期間（平成20年7月1日～平成20年12月31日）における業績の進捗状況を踏まえた上で、金融危機や景気後退に伴う消費マインドの著しい低下などを慎重に織り込んで、平成21年2月6日に公表したものであります。

当下半年（平成21年1月1日～平成21年6月30日）における消費環境については、従来以上にお客さま目線が厳しくなり節約志向の影響が随所に現れましたが、新業態店舗へのリニューアルと併せた既存店活性化策を講じながら、お客さまニーズに対応した商品構成と柔軟な価格設定などで来店客数を増加させる施策を強化しました。

その一方で、業務効率の改善や組織体制の見直しなどを通じて、固定費を中心にコスト低減を図り、また、グループ企業のうち平成19年10月に買収した総合スーパー長崎屋の事業再生が軌道に乗り始め、収益化の目処がたったことなどが業績改善に大きく寄与しました。

これらのことから、「ドン・キホーテ」既存店売上高は0.5%増と堅実に推移し、業態転換新店「MEGAドン・キホーテ」の増収効果などと併せて売上総利益は予想を約12億円上回る一方で、販売費及び一般管理費は予想を約26億円下回る結果となったことから営業利益は171億円程度になる見込みとなりました。

さらに営業外収支戻及び特別収支戻のマイナス幅が予想を上回って縮小したことから、経常利益は159億円程度、当期純利益は89億円程度になる見込みとなりました。

なお、1株当たり当期純利益予想は、期末発行済株式総数から自己株式数を除して算出しております。

## 2. 平成21年6月期の期末配当予想の修正（増配）

### (1) 配当予想修正の内容

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
前回予想 (平成20年8月18日公表)	10円00銭	12円00銭	22円00銭
<b>今回修正予想</b>	—	<b>13円00銭</b>	<b>23円00銭</b>
当期実績	10円00銭	—	—
前期実績(平成20年6月期)	10円00銭	12円00銭	22円00銭

### (2) 配当予想修正の理由

当社は積極的な事業展開のもと、経営基盤の強化、さらに事業改革及び財務体質の強化を図ることにより、企業価値を高め、株主及び投資家の皆さまの期待にお応えしながら、安定的な利益還元を図っていくことを基本方針としております。

平成21年6月期の期末配当金につきましては、当期の業績予想が前回予想を上回る利益が確保できる見通しであることから、前回予想の1株当たり12円から1円増額の13円とし、第2四半期末の10円と合わせて1株当たり年間配当予想を23円に修正させていただくこととしました。

なお、本件は、平成21年9月下旬開催予定の定時株主総会に付議する予定であります。

(注) 当資料に記載されている業績見通しにつきましては、発表日時時点で入手可能な情報に基づいて判断した数値であり、実際の業績については様々な要素により、これら業績予想と異なる結果となる可能性があります。

なお、当該決算期（平成21年6月期）の決算発表は平成21年8月18日を予定しております。

以上